

# 愛知県高校生訪問団広東省派遣事業報告書

愛知県立津島高等学校 2年 河村晴香

3月21日から27日の間に中国の広東省へ行ってきました。

その報告をしたいと思います。

## ◆ 訪問した場所、そこでの感想

### 【広東外事博物館】

たくさんの国の記念品が置かれていました。

中国の伝統的な建物ではなく、洋風な建物だったので、少し驚きました。

### 【広東省外事弁公室 礼賓館】

ここでは、いろいろな部屋を見学しました。この建物も洋風で、とてもきれいでした。また、中国の陶磁器や、木彫りの彫刻が置かれていて、中国でしか作れないような技術だと思いました。

### 【南越王墓博物館】

日本とはまた違った墓の形式、中国の古い技術についていろいろ学ぶことができました。

### 【広州市都市開発センター】

広州市の未来の計画について知ることができました。

そこで中国のゲームを体験しました。カーレースだったのですが、車のぶつかるときの振動や音が緻密に表現されていました。

### 【広州タワー】

世界で3番目に高いタワーだけあって、ものすごく高かったです。

ちょうど夕日がきれいに見える時間帯でしたが、あまりきれいに見ることができなかった。ライトアップは虹色でとてもきれいでした。

【順徳華僑中学】 同じ世代の生徒たちと関わることができ、とてもよい体験ができました。私は、体育の授業で、バスケットボールに参加しました。

日本の高校の授業よりも圧倒的に時間が短く、試合はしませんでした。

親睦会では、たくさんのおし物があり、どれも完成度が高かったです。

たくさんのおし物の皆さんに「写真を撮ってください。」や、「ウィーチャットのアイディー教えてください。」などと、言われ、アイドルになった気分でした。(笑)

### 【ホームステイ】

とても親切な家族でした。ホストファミリーにいろいろな場所へ連れて行ってもらいました。連れて行ってもらった場所は、紫雲閣というお寺や、順徳から約40分車を走らせたところなどと、中国の伝統的な場所に連れて行ってもらいました。

また、中国の伝統的な食べ物もたくさん食べさせてもらい、中国の魅力を2日間で、たくさんおしえてもらいました。

2日間英語しか話していなかったのですが、日本で使われている(習う)英語の発音と中国で使われている英語の発音が全く違ったので、何度も聞き返してしまいました。しかし、中国人の方とたくさん会話することができ良い思い出となりました。

#### 【広東外語外貿大学】

ここでは、立命館大学の方々と交流しました。

大学受験の体験談や、中国での生活に困ったこと楽しいことなど、様々なことを聞くことができました。大学受験頑張ろうと思いました。

#### 【億航智能有限公司】

ここは、ドローンを作っている会社で、人を運ぶことのできるドローンを開発したことで有名です。実際そのドローンに乗ることもできたのですが、筋肉痛が酷く、乗りませんでした。

#### 【広州励豊文化科技股份有限公司】

主に中国の音響の技術について学びました。

ここには、ボタン一つで響き方が変わる部屋や、消音室、実際にいるような効果を出すことができる部屋などがありました。とても興味深いものがあって楽しかったです。

#### 【広州桜泰汽車飾件】

この会社は、日本にあるトヨタ紡績が海外進出した会社です。ここでは、日本人が働いているので、日本語と中国語の通訳できる方がいました。

車のシートを作っている作業を見て、何時間も同じ作業を繰り返して行うのは飽きないのかなと思いました。

### ◆ 最後に

私は海外へ行くのが初めてで、中華料理を楽しみに行ってきたのですが、私がおいしいと思った料理は多くはなく、改めて、日本と海外の違いを感じました。

中国では、脂っこいものが多く、また、日本では食べない香辛料を使った料理が多かったです。

しかし、反対に中国のお茶は日本の市販で売られているお茶よりおいしかったです。たくさんお茶を飲んだんですが、私は一番プーアル茶が気に入りました。

この中国派遣は私にとって、とても素晴らしい経験でした。心から感謝します。

この経験を、将来につなげ、また、日本と中国の友好関係もさらに深めていきたいと思っています。



広州市ホテル周辺



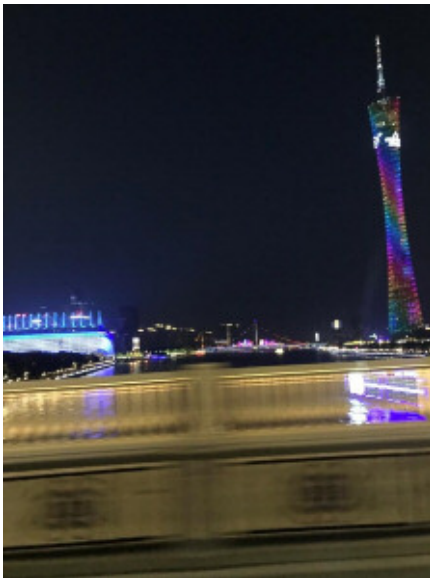
外事弁公室



餃子づくり



広州タワー



広州タワーライトアップ



華僑中学親睦会



ホームステイ先 お茶入れるもの



ホームステイ先 飾ってあったもの



ホームステイ先 カレンダー



ホームステイ先 マンションの前の風景



ホームステイ先 朝食で出たかわいいもの





紫雲閣 正面門



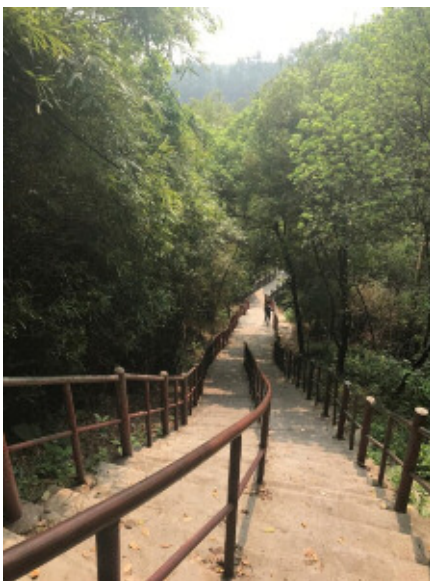
紫雲閣 提灯



紫雲閣 竹



紫雲閣 消火栓



紫雲閣 道



中国のスイーツ





ホームステイ先の家族（子供）



勝祥 橋の上



勝祥 橋の上



干された魚



進士



銅像





銅像



商店街



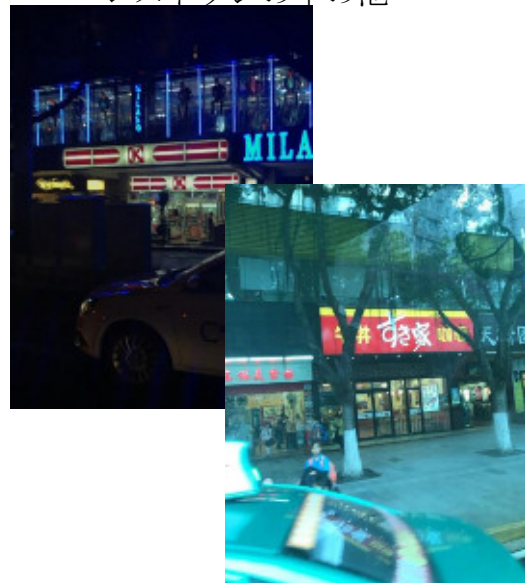
牡丹



レストランの中の池



ホームステイ先の家族



日本のお店



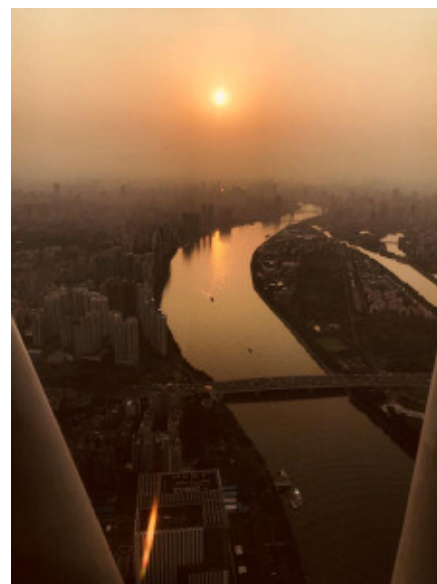
中国の街並み



中国での食スタイル



祈願するリボン



広州タワー上からの景色



# 中国派遣事業レポート

DATE. 2018.3/21~27

愛知県立常滑高等学校 堀田 和花

今回、私は愛知県の高校生代表の一人としてこの派遣事業に参加させていただきました。私にとって初めての海外訪問になり、ホームステイや現地の学校訪問で同じ歳の現地の人達と交流したり、広東の歴史を楽しく学びました。企業訪問では、中国のハイテク技術を体験したり、話を聞いたりして日本ではできない体験を沢山させていただき、とても充実した1週間となりました。

## Day 1

中国について空港内のトイレに行ったときにびっくりしました。入口で表示されている案内の男女の向きと逆の方にトイレがあって、日本では見たことがなかったので笑ってしまいました。また、私はトイレの使い方で困りました。トイレにペーパーを流してはいけないと聞いていたのに、癖で流してしまったり、日本のトイレと見た目が変わらないのに、流してはいけないの？どうするの？？となった場面が何回もありました。トイレも、国によって違うところもあると知りました。

また、空気が悪いと思い込んでいたので外にでた時に空気が爽やかで驚きました。植物がいろいろな所にあり、日本よりも植木などが沢山あって、きれいでした。そして、ホテルに向かうまでのバスのなかで景色を見ていたのですが、マンションやアパートの多さに驚きました。日光がちゃんとあたるのかな？と思いました。人口が多い国なのでそれくらいいしないとみんな住めないんだろうな、と思いました。

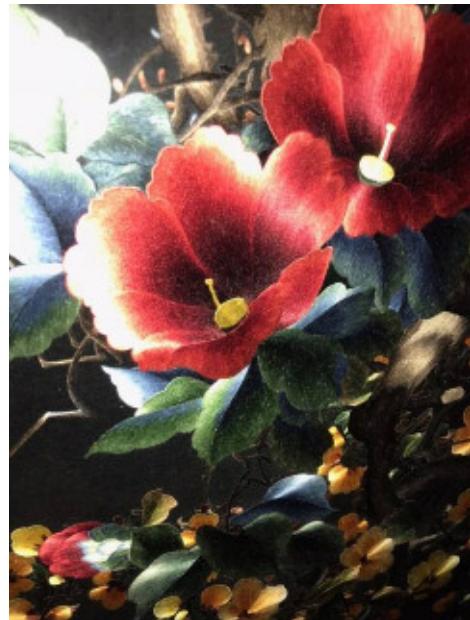
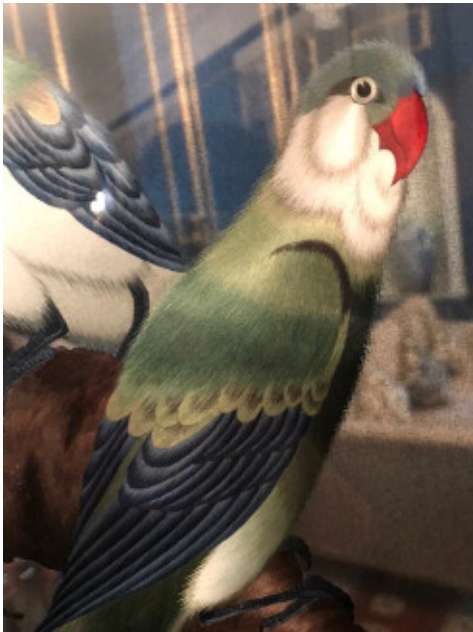
そして、本場の中華料理やテーブルマナーなどを夕食で味わいました。とりわけ用と食べる用で箸が一人二膳あったり、一つの取り皿に大皿から取り分けたり、お茶を沢山飲むことに日本との違いを感じました。不便だと感じたことは、回転テーブルの使い方です。人が取り分けてないタイミングを見計らわなければならないからです。しかし、それもそれで面白かったです！！



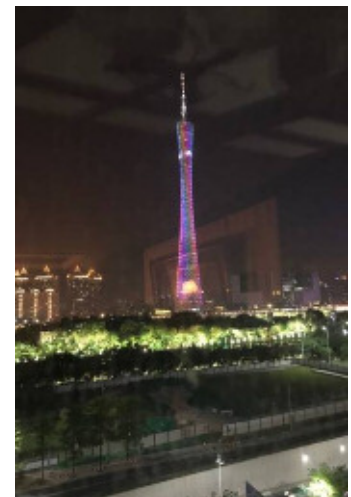
## Day 2

広東省の歴史や中国の芸術作品を見たり、博物館などに行き、中国の歴史について学びました。2日目からはガイドさんもついてくださり、楽しく学ぶことができました。

外事博物館では、さまざまな国から持ち寄られたお土産、伝統品を沢山みました。日本のお土産のなかには、江戸切子や羽子板に日本らしい装飾をした作品はとても美しかったです。また、建物自体が古くからあり、植民地時代に西洋に影響されたため、建物が西洋風で、中国にいたのに違う国の雰囲気を感じました。外事弁公室の訪問した際は、中国の美術作品が沢山飾られており、水墨画のようなものや、一つの木の幹をくりぬいた彫刻や、私が一番感動した、刺繍がありました。中国にはさまざまな種類の刺繍があるそうです。日本ではなかなか見ない種類の刺繍で、鳥や花もリアルで、鳥は毛の一本一本までもしっかりしていて、芸術作品をみてもなかなか感動や興奮しない私でも、感動しました。



都市計画展覧センターでは乗り物によって広東の過去から未来計画を学んだりしました。日本で、そのような施設に訪れてないからかもしれませんが、中国は技術が進んでいるんだなと感じました。その後訪れた広東タワーでは、広州市を見渡しました。夕方だったので、珠江がとてもきれいでした。





昼食は中国大酒店という有名なお店で食べました。麺のパフォーマンスは作り方が斬新で楽しかったです。作る人が汗だくになりながら一生懸命作っていて、昔の人はこの作り方も編み出したのがすごいなあと思いました。また、餃子づくりも楽しかったです！私のお父さんの家は、餃子づくりをよくやります。しかも、皮からです！みんなで皮を伸ばすのが今でも楽しいし、亡くなったひいおじいちゃんとの思い出でもあり、今でも続けています。しかし、皮の伸ばし方が違って、真ん中が分厚くなるように伸ばすそうです。それがとても難しく、シェフの方は数秒で伸ばしてしまい、圧巻でした！私たちの作った餃子も食べさせて頂き、いい思い出になりました！



## Day 3~5

ついに学校訪問とホームステイの日になりました！！海外の学校を訪れるのも、海外の家に泊まるのも、全て初めてで、何もかもが新鮮で楽しかったです！学校の生徒さんもみんな親切にしてくれて、写真を沢山とったり、お話したり、授業に参加したり 1日しかいられなかったのが残念でしたが、良い経験となりました。



校内はとても広く、寮やグラウンドには陸上競技場のようなフィールド、バスケットコート、運動器具があり、校舎の中には、池があり、生徒がリラックスできるので、羨ましかったです。書道の授業では、日本の学校で学んだ唐の四大家を勉強していて、同じ内容を学んでいることに嬉しさと親近感を感じました。生徒は、書き方などを優しく教えてくれました！体育の授業ではスポーツを通してコミュニケーションをとれて、コミュニケーションは言葉が通じなくても取れることに気がきました。

その後のお楽しみ会では、私たち高校生と伊丹市の中学生を盛大に歓迎してくれて、生徒が考えてくれた出し物を見たりしました。私たちの出し物、アニメクイズやパブリーダンス、浴衣パフォーマンスなど、すごく盛り上がってくれて嬉しかったです！浴衣を着るひとに選ばれた女の子が嬉しそうにっていて、みんなで考えてよかったなあと思いました。

ホームステイ先は、4人家族でした。弟くんはシャイだったのでなかなか話してくれませんが、私の大きな荷物を持ってくれたり、2日目の夜にゲームをした後プレゼントをくれたり、お別れの日の朝には早く起きて私のために水餃子をお母さんと作ってくれたりして嬉しかったです。ホストファミリーは、私が甘い物が好きなので、中国のダブルミルククリームを食べさせてくれたり、ケーキ作りを一緒にしました。ホストシスターは彼女の昔の友達2人を連れてきてくれて、友達が増えました。また、清暉園では中国の古い建物や庭園を見ました。庭園はとても美しく、沢山写真を撮ってしまいました。



↓アメリカ感のあるケーキを2つもつくりました！日本語を書いたら、どういう意味？？と聞いてきて、教えてあげたら嬉しそうにしてみました！みんなではしゃぎながら作って楽しかった！！





夜は、ホストファミリーと友達 2 人で食べました。私が小籠包が好きなので、小籠包を沢山頼んでくれました！そこでケーキを食べるときに、お礼の気持ちを伝え、泣きそうになってしまいましたが、すごく充実した 2 日になりました。



その夜はホストシスターとジェンガやテーブルゲームをしたり、お土産をもらったりしました。最後の夜は別れたくなくてさみしかったです。



翌日は学校に集まってからお別れでした。早く着いたので、グラウンドのトレーニング器具で遊んだりしました。お別れときは泣いてしまいました。沢山お土産をもたせてもらったので、日本から何か送ろうと思います。

## Day 6

中国に留学中の大学生からお話を伺いました。そこでは中国の留学のはなしや、私の興味のある国際問題関係についても話を伺いました。中国は人口が多いので仕方ないかもしれませんが、貧富の差が激しいです。マンションの並ぶ通りでも、一本中の通りは小さい子が服を着ていなかったりしたそうです。私は見ていないからわかりませんが、実際に見た人の話を聞くだけでも感じるがあります。私は、ホストファミリーと出かけた時に

かばんを開けたら貧しいであろう人がお金や物を要求してきました。怖かったし、断る事しかできませんでした。しかし、ここで物あげることが正しいことだとは私は思いません。そういう貧困層の人が少なくなる社会を作っていかなければならないと私は思いました。

日本の企業の見学では、私たちにもなじみのある、トヨタの関連会社であるトヨタ紡績の現地法人へ行きました。良い品質をめざし、最終チェックなどに気を遣って、また、働く人が楽しく安全に働けるような素晴らしい企業でした。私たちはミシンをつかった体験をさせて頂きましたが、私は裁縫がとても苦手で、上手に出来ないのので、男の子よりも下手で現地の職員の人に笑われてしまいました。

## 今回の事業を通して

今回の派遣前まで、愛知県でも沢山みる中国人や、中国という国に対するイメージはあまり良い物ではありませんでした。ニュースで報道されている一部、町で見かける一瞬しか知らないのに、中国というワードだけで感じるものは偏見と言えるものでした。しかし、実際に現地へ行って印象は大きく変わりました。PM2.5もないし、人々も関わる人みんないい人でした。決めつけるのは良くないと改めて感じました。日本人でも誠意のない人達がいるように、中国にだってそういう人もいます。実際に会いました。しかし、中国に行っていない人が見ているのは良くない面だけなんだと思いました。私の体験や感じたことを沢山のの人に話し、日中関係の改善や人々の偏見をなくすことに少しでも役に立ちたいです。

今回出会った人との関係を大切に、愛知県の代表として訪問したことに誇りを持ち、私のこれからの人生、将来に学んだ事や感じたことを活かしていきたいと思います。





# 愛知県・広東省 高校生交流事業

## 報告書

愛知県立豊田北高校 1年 安部知哉

### ●はじめに●

みなさんは中国と聞いて何を想像するでしょうか？

ニュースの報道を見聞きする限りでは、あまり良いイメージがないと言うのが正直なところであると思います。しかし、今回の交流事業を通じて、そんなイメージを覆されるような数々の体験をさせていただくことができました。今回はその一部をみなさんに紹介したいと思います。

### 1.古くからの**伝統**を重んじる国

派遣団一同で訪れた広東省外事弁公室の方やホストファミリーが連れて行ってくれた博物館などでは、日本ではないだろうほど数多く中国に古くから残る金銭であったり以前他国と交流した証として相互に送られたものが丁寧に展示されていたりと、とにかく中国の伝統、歴史が見て取れるようになっていました。

また、驚いたことにホストフレンドがそれらについてこれ以上はないほど事細かに紹介してくれたので、中国の人々は伝統を深く重んじており、しっかりと関心を持って接しているのだなと感じ、自分が逆の立場になった時のことを考えて、日本の歴史や伝統をもっとしっかりと関心を持って学んでおきたいなと思いました。



### 2.**技術**の発達が著しい



みなさんは中国の技術発展がどれほどのものかご存じですか？日本も技術発展が著しいことで有名ですが、中国もそれに負けず劣らず様々な面で技術が進んでいるのです。それが特に顕著に表れていたのが、左の写真の乗り物なのですが、これが実は近年実用化が進んでいる「ドローン」なんです。

ドローンと聞いて想像するものは、一般的に小型のだと思いますが、中国では「人が乗れる」ドローンが既に開発されていました。これを開発した理由として大気汚染を挙げていました。それゆえに、これは電気で動く充電式の乗り物なんです。将来的にはこれをより普及させ、中国の空にこれが飛び交うようにしたいと話されていました。

他にも、一切雑音が聞こえないよう緻密に設計された部屋であったり、タブレットと連携してタップ操作ひとつで音の響き方を変えられるシステムであったりと、音に関する点でも発展が見られました。



### 3.とにかく自然が豊か



中国の街中を歩いていると、常に緑が目に入ると行っても過言ではないくらい自然豊かな環境づくりがされていました。それ故に、気軽に立ち寄れる庭園もいくつかありそこには多くの人々が訪れていました。僕の訪れた場所は結構広い造りになっていて、中にはランニングをしたり、ボール遊びをしたりする姿も見られました。自然が好きな人にとってはうってつけです。

### 4.人々の優しさに触れた日々

僕はこのような派遣で海外渡航するのが今回を含め2回目でした。とはいえ、上手くやっていけるかどうかという緊張や不安でいっぱいでした。しかし、現地の学校での交流会で直に中国の人々と触れ合い、抱えていた不安も消え去るような現地の人々の優しさを感じました。

「Don't be shy」「You are cool」など、勇気づけられるような言葉をかけてくれたり、とてもフレンドリーに接してくれたりしたので、とても嬉しかったのを覚えています。





## 5.日本人留学生との交流



中国にある大学を訪問させていただき、そこで日本人留学生の方々とディスカッションをしました。1対1の対談形式で、僕は留学1年目の方とお話をさせていただきました。気さくな方で、僕が外国人と交流をするときに意識していることを尋ねると、「とにかく笑顔でいること。笑顔でさえいれば、言葉が通じなかりょうがなんだろうが

なんとかコミュニケーションは取れるし、逆にシュンとしていると向こうを不安にさせちゃうからね。プラスで面白いことを何かできればもっといい。できなくても、とにかく笑っていることが大事だと思うよ。」とおっしゃっていました。これを受けてこれから意識していこうと思いました。他にも自分の将来についても聞いてもらってアドバイスをもらったりと、とても貴重な時間を過ごすことができました。

### ●最後に●

実際に中国を訪問し、様々なところで様々な体験をし、自分のこれからにつながるとにかく充実した7日間だったなと改めて感じました。中国の人々の温かさや技術の発展は、ニュースや新聞ではなかなか報道されず、実際に訪れてみなければわかりません。ですから、もっと多くの人に中国を訪れてもらい、それらを肌で感じて欲しいなと思いました。そして、今回のこの事業に関わり、支えてくださった全ての皆さまのおかげで、数々の貴重な体験をすることができたり、最後まで安全に楽しむことができました。本当にありがとうございました。今回得た知識を自分の中だけに留めず、より多くの人に伝えられたらなと思っています。また、それらをこれからの人生に役立て、自分の可能性をより広げると同時に、日本そして中国に何か貢献できたらなと思います。



# Aichi-Guangzyou Exchange Program 2018

## 愛知県立西尾高等学校 飯塚友恵

### 参加の動機

元々、中国の歴史や文化に関心を持っていたので、もっと深いことを学びたいと考えた。また学校にいる中国文化に詳しい先生に影響され、自分も中国で学びたいと思った。他にも私は茶道部に入っていて、中国の飲茶に興味があったこれらの理由から、私は今回の事業に参加した。

### 順徳華僑中学への訪問

中国の学校は日本と比べて規模が大きく、初めて見た時は大学かと思った。中国の授業は日本の授業とは違い、パワーポイントなどを使っていた。私は書道とバトミントンの授業を受けたが、生徒は日本よりもはるかに積極的で、楽しそうにしていたのが印象的だった。日本人の私に、周りのクラスメイトはとても優しくしてくれて、通訳にもなってくれた。優しさに溢れた人達を見て、自分も見習わなくてはと思った。あの時のクラスメイトは絶対に忘れられない大切な仲間だ。また学校に行って会いたいと思っている。



### ホームステイ

私のホストファミリーは4人家族で、みんな陽気な人だった。「一人っ子政策」を最近まで取っていた中国では珍しく2人姉弟の家だった。私は実を言うと英語がそこまで得意ではなかったのでかなり不安だったが、ホストファミリーと沢山話すことで、すぐに打ち解けることができた。英語を話せるのはホストシ



スターのピキンしかいなかったが、ピキンが通訳をしてくれたり、少しだけ翻訳アプリを使ったりして、仲良く会話することができた。日本人はよく文法や発音などを気にすることがあるが、そんなことは全く関係ないと分かった。大切なのは伝えようとする心だと思う。

ホストファミリーとは、お茶の作法である飲茶の体験をしたり、清輝園と言う庭園に行ったり、中国で3番目に大きな川である珠江のほとりを歩いたりした。ご飯は主にホストファーザーがつくってくれたが、とても美味しくて、ホテルのご飯の数倍はいいと思った。特にお粥が美味しくて、平均して3杯はお代わりをした。夜は私が持っていた浴衣をみんなに着せて、一緒に写真を撮った。ホストマザーは本当にノリノリで、たくさん写真に写ってくれた。気に入ってくれたようで、とても嬉しかった。

お別れの時は本当に辛くて、バスの中で号泣した。短い期間ではあったけれど、日本と中国の文化を教えあい、いつもみんなと笑って過ごした3日間は私の人生の中で大切な思い出になっている。ホームステイから、他では学べないたくさんのことを学んだ。ホストファミリーや近所の人に、本当に感謝している。



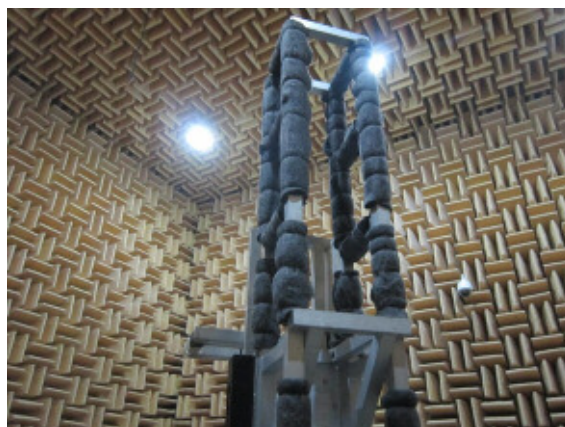
## 企業訪問 (LEAFUN)

3社の企業訪問をしたが、1番印象に残っている企業は、「LEAFUN」だ。この会社は、北京オリンピックの照明と音響を担当したことで知られている。建物が新しく、最新の設備があちらこちらに置かれていた。

中でもすごいと思ったのが消音室だ。ほぼ毎日、新しく開発した装置の実験に使われているという。

この部屋の壁にはスポンジが敷き詰められていて、音がすぐに吸収されるようになっている。ずっと静かにしていると自分の心臓の音が聞こえる、ということだったので、試しに1分間みんなで静かにしていた。かすかにパソコン、パソコン、と音がしたので、本当に心臓の音が聞こえるくらい周囲の音を吸収するのだと分かった。

次に、未来にできると言われているバーチャルでのライブを体験した。今流行りのK-POPグループが登場したので、嬉しくてずっと動画を撮ってしまった。目の前に歌手の人がいて歌ってくれているような感じがして、不思議な気分になった。中国は今やハイテク産業や情報産業にも強い国になっているのだと分かった。



## 最後に

私は今回の事業を通して、中国の独特な文化や考え方などをたくさん知ることができた。最初は不安でいっぱいだったが、過ぎてみるとあっという間の1週間だった気がする。また、現地での交流で友人もつくることのできたので、これからも交流を重ねていきたいと思う。この貴重な体験を無駄にすることなく、これからの生活に生かしていきたい。たくさんの思い出をくれたみんなへ。

# 謝謝!!!



# 愛知県高校生訪問団広東省派遣事業

刈谷北高等学校 谷澤桃子

## 広東外事博物館

外国から広東省に送られた記念品の展示が数多くありました。日本からの贈り物である扇子や羽子板の飾り物などもあり、日本との関係の親密さを感じられました。広東省の歴史より、この周辺は洋風の建物が多く建っていました。



## 西漢南越王博物館

南越国二代目の王がまつられている古墳です。この墓を見つけるのには時間がかかりましたが、当時の人々の知恵によって保存状態は良く、二千年前の南越国の政治や経済、文化を読み取ることができたそうです。古墳の入り口は外からは開かないようにされており、今でも簡単には思いつけない工夫に驚きました。

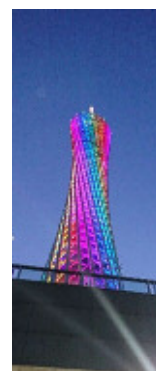
## 広州市都市計画展覧センター

広州市の歴史と都市計画を見ることができました。歴史については、4D 映像でまるで自分がその時代にいるかのような体験をして学ぶことができました。都市計画については、世界各国の人口や面積、GDP などといった数値を、画面をタッチして操作するだけで比較することができました。実際に広州市の街を見ていて、広州市は都会で、科学技術も進んでいるという印象を受けたので、それらは海外との比較からつくる念密な都市計画があったからだと思いました。



## 広州タワー

高さ 600m の広州タワーは、東京スカイツリーにも負けないくらいの迫力がありました。ここにはいくつかの展望台だけでなく、フリーフォール、横に回る観覧車といったアトラクションが楽しめます。展望台からは広州の街並みを夕日と共に見ることができました。何本もある大きな川と街の景色はとても美しかったです。



## 順徳華僑中学

学校の先生方や生徒の皆さんは私たちを大歓迎してくれました。

書道の授業体験では、何度も書いて練習する日本の授業とは異なり、書道の歴史について詳しく学んだ後、実際に一枚の作品を書きました。隣の子に説明してもらいながら、素敵な作品が作れたと思います。



昼食は学校にある食堂でとりました。食事はバイキング形式でとることができ、18時まで続く午後の授業に向けてのパワーをつけることができそうでした。

博物館では中国の文化を学びました。特に中国の伝統的な舞を踊る様子が模型にされており、今もそれは踊られているそうなので、ぜひ実際に見てみたいと思います。

午後には愛知県訪問団を歓迎する会を開いてくださいました。華僑中学からは楽器の演奏やダンスなどの発表がありました。中国ならではの演技や衣装に感動しました。私たち愛知県訪問団からは、日本のキャラクターに関するクイズや浴衣の体験、バブリーダンスを発表しましたが、華僑中学の生徒の皆さんは日本に興味を持ってきてくれたのでとても盛り上がりました。



順徳華僑中学の生徒は平日に寮生活をしていて、大学進学に向けて一生懸命勉強しているそうです。私のホストシスターは勉強することが好きと言っていました。私とは勉強に対するモチベーションが違うなと思いましたが、彼女との出会いで自分も頑張らなきゃいけないと感じました。

## ホームステイ

二泊三日のホームステイ初日の夜は、ショッピングモール **Lucky City** で買い物をしました。夜の 9 時頃でしたが学生も多くおり、日本ではあまり見ない光景にとっても新鮮な気持ちでした。中国で人気だという砵仔糕は優しい甘さでとてもおいしかったです。その他ホームステイのお家で使うものやお土産を買ったのですが、地元の人のはほとんどは、日本でいう **LINE** のようなアプリである **WeChat** で買い物の支払いをしていました。驚くとともにとても便利だと思い、日本も今後このようになっていくのだろうと思いました。



二日目の午前、中国の歴史的な建造物が多くある请暉園に行きました。日本のものとはまた違った中国の建造物の美しさに感動しました。特に水や木、花などの自然の風景の中にある建物がとても印象的でした。

歩いて移動している途中に髪飾りや風船を販売している人がおり、**WeChat** で友達になると無料でもらえるということで、私達も髪飾りと風船をもらいました。日本にはないエンターテインメント性がとても面白かったです。

午後はアジアで最も大きい広場と言われている、順峰山公園に行きました。そこにある門もアジア一の大きさを誇るそうで、とても迫力がありました。







公園内はレンタルした二人乗り自転車に乗って周ったのですが、心地よい風を感じながら、自然いっぱいの景色を友達と一緒に堪能し、なかなかできない素敵な体験ができて楽しかったです。

ホストシスターは、私が中国語を勉強したいと言うと会話の中でたくさん教えてくれました。また彼女も日本語を勉強中ということで、両方の言語を使って UNO をしたり、英語をベースに、お互いに中国語と日本語を教え合って勉強したりしました。少しではありますが中国語は確実に身に着いたと思うし、今後の中国語学習への意欲がさらに高まりました。

### 広東外語外貿大学

この大学に通う日本人留学生の方々から直接お話を聞くことができました。広東で生活していて、現地の人々はとても優しく、また物価も安いので、困ることはあるものの住みやすいと話していました。長期の滞在ではまた中国が違って見えると思うので、中国の長期留学にも興味を持ちました。

### 億航無人機有限公司

ドローンの開発をしているところです。様々なドローンの中でも、目的地の登録だけで操縦無しで動くものや、人を乗せて運べるものなどがあり、科学技術の進歩を感じました。初めて実際にドローンを操縦しましたが、操縦によってドローンからの景色を見ることができ、とても面白い体験でした。



### 広州励豊文化科技有限公司

こちらで開発された技術は、中国国内だけでなく海外でも多く適用されており、オリンピック開会式の音響なども手掛けたそうです。館内には最新の技術を感じられるものがたくさんありました。特に、音の響きを変換して会議室やコンサートホールといった違った場所を作り上げる会場では、手拍子の音でさえも一瞬で響きを変えてしまったので驚きました。



### 広州桜泰汽東飾件有限公司(トヨタ)

世界各国に進出しているトヨタ紡織さんの広東省にある工場で、見学とお仕事の体験をさせていただきました。一つ一つの部品を注文に合わせて作っているそうです。みなさんが一生懸命練習に働く姿からは、自分の将来の働き方について学ぶところがありました。また、日本の技術が広東省にも進出していることを実際に見てうれしい気持ちでした。



## 一週間の体験を通して

順徳華僑中学の皆さんやホストファミリーなど、多くの方が私たち日本人を歓迎してくれました。みんなフレンドリーで優しく、例えコミュニケーションがうまくとれなくてもすぐに仲良くなれました。広東省で出会った人たちに感謝します。

街は洋風な建物と自然が多く落ち着いたところもあれば、ショッピングモールなどが並んで都会で便利なところもあって、同じ広東省の中でも様々な場所があり、楽しくて居心地が良いなと思いました。

実際に自分の目で見たり体験したり、貴重な体験ばかりの一週間でした。中国の人たちは良い人ばかりで、環境も良くて素敵なところだなと思いました。ぜひもう一度広東省を訪れたいと思います。



今回貴重な体験をさせてくださった皆さんに感謝したいと思います。



# Aichi-Guangdong High School Student Exchange Program 2018

豊橋東高校 2年 金田梨沙

今回の広東省との交流を通して、中国に対する今までのイメージが大きく変わりました。そのなかでも、印象深かったホームステイについて紹介します。

## 《ホームステイ 1日目》

夜ご飯に、レストランで魚料理を食べました。いけすに入った魚介類の中から選んで食べました。中国特有の円卓で食べましたが、ホ



ストシスターがこまめに料理を回してくれました。ホストファミリーの優しさを実際に肌で感じることができ、ホームステイの不安が少なくなりました。



家に着いたあと、ホストブラザーと中国で有名なバラエティ番組を見ました。日本のものと雰囲気は変わらず面白かったです。

### 《ホームステイ 2 日目》

この日は朝ごはんは飲茶を食べに行きました。自分たちで好きな茶葉を持っていき、好きな料理を注文して楽しみました。朝早かっ



たのに、お店は多くのお客さんで賑わっており、中国人が日常的に飲茶に親しんでいることが伝わりました。

その後は、ホストシスターとバトミントンをしました。その施設では、バトミントンができる場所だけでなく、プールやホテル、レストランもあるそうです。日本と同じように遊べる場所も充実していることが分かりました。

そしてショッピングモールへ行き、タピオカやお餅のようなものを食べました。たくさん色や味があってとても綺麗でした。

ショッピングモールから家へ  
徒歩で帰りました。日本と比べ  
て信号機や横断歩道の数が極端  
に少ないことにとっても驚きまし  
た。道を渡る時には自分で確認



して渡らなければいけなかったのも、とても危険だと思いました。



家に着いたあと、ホストファミリー  
と一緒にフライドポテトを作りました。  
ポテトを揚げる時にサラダ油では  
なく、ピーナッツオイルを使っていま  
した。とても香ばしい香りがして、美  
味しかったですし、油にまで違いがあ

ることにも驚きました。

その後はお寺へ行きました。日本と同じように絵馬を書き、吊るすス  
ペースがありました。しかし、絵馬の色は中国  
では縁起が良いとされる赤色や金色でとても  
素敵でした。周りにある建物も中国の映画に  
出てくるような雰囲気のある建造物が多く、



本当に美しかったです。中国の長い歴史をそこで感じる事が出来ました。

この日の夕食では小籠包などの中華料理を食べました。本場の辛さでしたがとても美味しかったです。野菜炒めには日本の野沢菜が使われていました。料理からも、日本と中国と



の親交の深さを知ることが出来ました。

レストランのある通りを歩いていると、キティちゃんのお店がありました。中にはたくさんのグッズやお菓子がありました。ホストシスターやその友達もキティちゃんのことを知っていたので、日本の”kawaii”文化が中国にも浸透していることにとても驚きました。

### 《ホームステイ 3 日目》

この日の朝でホストファミリーといよいよお別れでした。寂しい気持ちで朝を迎えると、ホストマザーがマンゴーのケーキと、ホストファミ



リーの出身地でもある香港のお菓子を振舞ってくださいました。同じ中国でも、香港と本土とでは食文化にも大きな違いがあることに驚きと面白



さを感じました。

この日で短くとも濃いホームステイが終わりました。

#### 《学んだこと》

私は今まで、国内で報道されているニュースなどを鵜呑みにしていました。そのため、出発前は今回の交流に少し怖さと不安を抱えていました。しかし、実際に中国人と関わってみると、自然と車道側を歩いてくれたり、転びそうなところでは「気をつけてね」と声をかけてくれた



り、質問にも優しく丁寧に答えてくれたりといった優しさをたくさん感じることができました。私はこの経験から、1つの面からの意見

だけを聞いていると偏見を持ってしまったり、差別する心が芽生えてしまったりする危険性があるため、物事を多角的に捉え、実際に見たり聞いたりすることが重要なのだと学ぶことができました。しかしこれは、外国人とだけでなく、日本人同士でのコミュニケーションでも大切なことだと思いました。だから私は、コミュニケーションを取る誰に対しても色々な面から長所を探していきたいです。

そして私は、言語の大切さも同時に学びました。確かにホストシスターは英語を勉強しており、コミュニケーションを取ることは容易でした。しかし、ホストマザーとは英語を使って話せなかったため、あまり会話ができませんでした。今日、世界では英語が多く学ばれています。そのため私は、英語が使えればたくさんの人と交流できると思っていました。しかし、その国や地域には独自の言語が発達していることをこの交流を通して再確認できました。だから、これからは英語以外の外国語にも積極的に興味を持って接していきたいと強く思いました。

#### 《その他》

中国語もろくに話せない私を温かく迎え入れてくださり、本当の家族のように接してくださったホ



スタッフファミリーにたくさんのお礼を伝えたいです。そして、1週間一緒に勉強し、仲良くなることができた11人の仲間にもお礼を伝えたいです。谢谢



# 愛知県中国広東省派遣事業報告書

御津高校 レーアンピータオ

私は今回の広東省派遣事業で中国について知らなかったことや中



国の文化などを学ぶことができました。

## ～1日目～

中国広東省派遣の初日です。最初はみんなと仲良くできるかどうかをととても心配をしました。でも、みんなは積極的に話しかけてくれたのでとても嬉しかったです。飛行機の中でみんなと話をしたりトランプをしたりしました。私は久しぶりに飛行機に乗ったので少し緊張をしました。飛行機の食べ物は美味しかったけど野菜が多かったのであんまり食べられませんでした。約5時間で広州白雲国際空港に着きました。広州白雲国際空港は綺麗でとても広かったです。外に出たら車がいっぱいありました。北京や上海はわかりませんが広州の空気はとても良いし道路も綺麗です。車で約2時間でホテルに着きました。

私たちが泊まったホテルは広東勝利賓館というホテルです。とても美しいホテルでした。夕食はホテルで食べました。とても美味しい食べ物ばかりでした。その日の夜は友達とトランプをしたり写真を撮ったりしました。

## ～2日目～

朝食を食べた後、外事博物館を視察しました。そこでは広東省政府の国際交流の写真や各国から贈呈された記念品などが展示されています。アジアやヨーロッパなどたくさんの国からの美しい贈り物があります。広東省外事弁公室を訪問し、副巡視員の話を知ったり写真を撮ったりしました。お土産をもらいました。可愛いストラップでした。嬉しかったです。その後は南越王墓博物館見学をしました。その博物館は紀元前 203 年から紀元前 111 年にかけてベトナムから広東省を含む中国南部のを治めていた南越国の王様の墓や埋葬品などが展示されています。2008 年に中国の第一期「国家一级博物館」と選ばれました。昼食の後は広州タワーに行きました。広州タワーは高さ 600m のテレビ塔で、「くびれ」と愛称を持ち、広州の風景を一望できます。東京ス

カイツリー（634m）ができるまでは世界一高い電波塔でした。広州タワーは東京スカイツリーに負けないくらいに美しかったです。



夜はみんなで集まって次の日の交流会のために練習をしました。

## ～3日目～

広州市の隣の佛山市へ移動して、順徳華僑中学という高校を訪問しました。その高校生たちと授業を受けました。書道をやりました。中国人の男の高校生が隣で先生の言ったことを英語に通訳してくれました。わかりやすかったです。その子と Wechat を交換できて本当に嬉しかったです。次は高校生たちと食堂で昼食を食べました。食べ物は自分の好きなものを取って食べることができます。食べた後は自

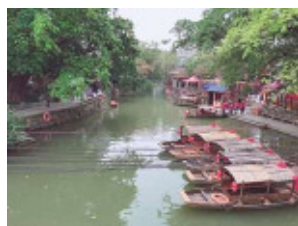




分で皿を洗わなければなりません。昼食の後は体育の時間でした。私はバドミントンを選びました。その後は交流会をしました。ステージ発表をしました。私たちはクイズと浴衣の着付けとダンスをしました。思ったよりみんなが盛り上がってくれました。ステージ発表が終わったらみんなで写真を撮りました。いろんな子と写真を撮れて本当に嬉しかったです。写真を撮った後、ホストファミリーの家に行きました。学校からは結構遠かったです。ホストファミリーの家はとても綺麗でした。夜はホストファミリーと外食に行きました。ホストファミリーとたくさん話をしました。

## ～4日目～

朝食は大きなレストランで食べました。そこは食べ放題です。自分が食べた物を紙にチェックしてからお会計をします。私が一番驚いた



ことは使用前に皿、スプーン、コップなどは自分で洗うことです。食べた後、ホストファミリーといろんな有名な観光地に行きました。中国の文化を学ぶことができました。小舟に乗りました。ちょっと怖かったけど楽しかったです。お土産もいっぱい買いました。昼食はシーフードを食べました。美味かったです。久しぶりにシーフードを食べました。その後はホストファミリーの家の近くにあるスーパーに行きました。スーパーで中国のお菓子をいっぱい買いました。中国のお菓子は本当に美味しいです。夕食はホストマザーが作りました。とても美味しかったです。ご飯を食べた後、家の下にある公園をお散歩しました。中国の夜は日本と違ってとても賑やかです。みんなはダンスをしたり犬の散歩をしたりスポーツをしたりしました。ホストファミリーはみんな優しくかったです。私に中国の文化などを教えてくれました。



## ～5日目～

朝、ホストマザーは仕事だったのでホストファザーが学校まで送っ

てくれました。学校に着いたら卓球部の見学をしました。みんなと一緒に写真を撮ったらホストファミリーとお別れをしました。学校の二



階を見たらたくさんの高校生が手を振ってくれました。感動しました。バスの中で友達と久しぶりに喋れて楽しかったです。ほとんどホームステイのことばかり話しました。その後は大学見学をしてホテルに戻りました。

## ～6日目～

この日は、Ehang（億航）無人機、広州励豊文化科技股份有限公司、広州桜泰汽車飾件を訪問しました。広州桜泰汽車飾件では仕事の体験をしました。難しかったです。夕食はホテルの近くにあるレストランで食べて、ホテルの近くにあるお店でお土産を買いました。ホテルに着いたら帰る準備をしました。とても大変だったです。



## ～7日目～

午前はコンビニに行ったり、帰る準備などをしました。その後は、空港の近くにあるレストランでご飯を食べてから空港に行きました。飛行機内で友達と話をしたり、遊んだりしました。みんなとお別れするときはとても悲しかったです。みんなともっと一緒に居たかったです。中国で学んだことなどを家族や友達に話しました。

## ～まとめ～

中国は面白いことがたくさんありました。いろんなことを学ぶことができました。中国の空気は綺麗ですし、中国人もみんなとても優しくかったです。中国は思ったよりもとても良い国でした。私は、この派遣事業に参加できて本当に良かったです。最高の時間を過ごすことができました。中国で学んだことを将来活かしたいです。一緒に行った子達と12月に行われる報告会で会うのを楽しみにしています。



## 「愛知県高校生訪問団広東省都派遣事業」参加者アンケート

1. どうして今回の派遣事業に参加しようと思いましたが？チェックしてください。

- 国際交流に興味があるから (11) ※複数可  
 中国に興味があるから (6)  
 英語力を向上させるため (11)  
 家族や学校の先生に勧められたから (5)  
 その他 (0) ( )

2. 今回の訪問先の中で印象に残ったところはどこですか？

以下の a~f の中から三つを挙げ、理由を書いてください。

- a. 広東省外事弁公室 (3)   b. 順徳華僑中学 (10)   c. ホームステイ (12)  
d. 広州桜泰 (トヨタ紡織現地法人) (6)   e. 中国系企業 (億航、励豊) (1)  
f. その他 (4 : 広州都市計画展覧センター、広東外語外貿大学の日本人留学生との交流、ホテル)

### 【a. 広東省外事弁公室】

- ・副巡視員の日本語がとても上手で、素晴らしいおもてなしをしてくれたから。広東省外事弁公室の担当の方がとても親切だった。

### 【b. 順徳華僑中学】

- ・多くの現地の高校生と関わる事ができたから。
- ・クイズの出し物で中国の生徒たちがとても盛り上がってくれてうれしかったから。
- ・互いに公用語でない英語をうまく使って理解しあえたから。
- ・たくさんの中国の学生が私に話しかけてくれてとてもうれしかったから。
- ・同年代との交流ができてよい経験になったと思ったから。
- ・中国の学校について知ることができたから。
- ・中国の学校を身をもって体験し、よい経験になったから。

### 【c. ホームステイ】

- ・実際の中国の人の暮らしを体験できたから。
- ・家族の人たちが本当によくしてくれてとても楽しかったから。
- ・ホストファミリーにとってもよくしてもらったから。初めての体験だったから。
- ・中国の伝統や習慣についてたくさん学べたから。
- ・英語をうまく話せない私でも、色々な人と仲良くできたから。もっと英語を勉強しようと思った。
- ・一番楽しいプログラムで、別れが寂しいと思った。
- ・中国の人々の生活や習慣を知ることができたから。

- ・様々な場所へ連れていってもらったり、ホストファミリーと過ごした時間が楽しく勉強になったから。

- ・ホームステイのホストファミリーが優しく、別れる時に泣いた。

【d. 広州桜泰（トヨタ紡織現地法人）】

- ・普段経験することのない体験をさせてもらったから。一番親身に教えてくれた。

- ・愛知の会社がたくさんの人々によって成り立っていると思ったから。

- ・愛知の企業が中国でも活躍していることを知り、うれしく思ったから。

- ・愛知の会社が外国でどのように活躍しているか知ることができたから。

- ・たくさんの部品を見て、こんなにたくさんあるんだと驚いた。

【e. 中国系企業（億航、励豊）】

- ・発展した技術を見せてもらったりして、知らなかったことをなど知れたから。

【f. その他】

- ・（広州市都市計画展覧センター）車のアトラクションなどがとても楽しかったから。

- ・（ホテル）わりと故障が多い。

- ・（日本人留学生との交流）自分の将来や海外について疑問に思っていたことを解決でき、よい時間となったから。

### 3. 以下のプログラムの感想を記入してください。

#### （1）順徳華僑中学訪問

- ・みんなが日本人の私たちをととても歓迎してくれてうれしかった。最後に発表が終わって外に出たときに多くの生徒と一緒に写真を撮ってとか Wechat の ID を交換しようとして声をかけてくれて、日本に興味があったり、中国人以外と会話するのは初めてだからうれしいと言ってくれた。また、日本の学校との違い（授業の数が日本の倍ぐらいあったり、学校が広かったこと）を知ることができた。みんなたくさん勉強していると言っていたので、私も頑張ろうと思った。

- ・一番うれしかったのは、クイズの出し物で生徒たちがとても盛り上がってくれたことです。自分は大勢の人数の前で何かをやるというのが苦手なタイプだったので、その時はとても達成感がありました。また、書道の授業では、隣の男の子が本当に親切で、その周りの子たちも一緒になって教えてくれて本当にうれしかったです。

- ・ホストシスターが最初からとてもよく話しかけてくれたり、荷物を持ってくれたり、案内してくれてとてもうれしかった。校長先生はとても気さくな感じがして、話しかけやすかった。日本よりも学校が大きくて、トイレに行くだけで迷った。自然に囲まれた環境でうらやましかった。交流会の出し物では、順徳華僑中学の生徒たちのクオリティが高くてびっくりした。

- ・すぐく歓迎してくれて、少し英語が伝わらなかった時も、互いに理解しようとして、助け合いができた。ステージ発表では思いやりを大切にできた。授業ではたくさんの生徒



が英語で伝えようと努力してくれた。もっと授業に出たかった。たくさんの生徒と交流したかった。

- 日本人と中国人は使う言語は違えど、英語をツールとして使うことで仲良くなれるということを自ら体験することができた。中国の学生の皆さんはとても優しく、中国の方のぬくもりに触れることができた。
- とても広く、校内に池があることにびっくりした。また、覚えてもらえるかなと思って、ツインテールで訪問したら、たくさんの生徒が「You are very cute!」と言ってくれてうれしく思った。中国の生徒はみんなフレンドリーでとても楽しかった。
- 他のメンバーと一緒に出し物を考えることができ、楽しかった。中国の学生たちも私たちが楽しめるように色々と考えてくれてうれしかった。書道の時間では、唐の四大書道家の勉強をしていて、私も学校の授業で勉強したことなので、同じ内容を学んでいることに驚いた。歓迎してくれてうれしかった。
- 書道、食堂での昼食、体育の授業を体験でき、短い時間ではありましたが、本当にこの学校の生徒になれたような気分で過ごすことができました。現地の皆さんはとても温かく、歓迎会も盛大でとてもありがたかったです。
- 中国の学校の生の生活を知ることができた。また、授業を通して、たくさんの友達をつくることができた。

## (2) ホームステイ

- ホームステイ先でも本当に歓迎してくれて、とても充実した二日間になった。おいしい広東料理と一緒にマーケットに行き買って買った新鮮な魚や野菜、フルーツで料理を作ってくれたり、有名な観光地に連れて行ってくれた。また、中国で流行しているものや中華料理を食べるときにお茶を入れてもらったら、二つの指で机をたたくとありがとうという意味になることなど、本当に様々なことを教えてもらった。私が中国語をしゃべれないから、みんな英語を話してくれて本当にうれしかった。
- まず驚いたのは、家が豪邸だったことです。4階建てで一部屋ずつにシャワーとトイレと洗面所があって本当にびっくりしました。また、家族の方々が本当にいい人たちでとても過ごしやすかったです。5歳と10歳のとてもかわいい弟たちがいたことも最高のホームステイになった理由の一つだと思います。まず、広東で有名な庭園に行き、その後、アジア一大きい公園に行きました。そこで乗った二人乗り自転車が風を切って最高に気持ちよかったです。
- 初めてのホームステイだったのでとても緊張した。だけどホストシスターが私のことをとてもかわいがってくれた。ホストファミリーもレストランを営んでいて、なかなか一緒にいることはできなかったけど、とてもよくしてくれた。お母さんとお父さんの作っ

た料理は中国に来て一番おいしかった。自然に囲まれた家で、これぞ昔ながらの中国の家という感じだった。両親は日中は忙しいから、ホストシスターと二人で行動することが多かった。ドイツ人とも出会い、彼女は英語がとても上手なので友達になれた。

- ・家族は英語が話せるわけではなかったけど、簡単な英語を使ってコミュニケーションをたくさん取ることができた。私も中国語を少し覚えて話す努力をした。もっとホームステイをしたかった。
- ・私は英語をうまく話すことができない。それでもホームステイ先の家族と仲良くできた。私のつたない英語では気持ちがうまく伝わらないことも多々あったので、もっと英語を勉強したいと思った。英語がペラペラになったら、またホームステイに行きたいと思った。
- ・ホストファミリーに中国の伝統的な文化、歴史、マナーなどを教えてもらったり、私から日本の文化を紹介するためにおりがみをしたりして、とても楽しかった。チャイニーズデザートを食べたが、もちもちしてとてもおいしいものもあったが、そうでないものもあった。
- ・ホームステイでは、ホストファミリーやホストシスターの友人などにとっても親切にしてもらい、よい経験がたくさんできた。移動の車の中では、自分から話しかけることができなかったのですが、ホストシスターが話しかけてくれて、自分からも話しかけるようになって、新たな友人ができてよかったです。
- ・とにかくとても親切に接してくださったので、安心して過ごすことができました。色々な場所に連れていってもらい、中国の伝統や歴史を詳しく知ることができ、また、中国の人々の温かさを肌で感じることができました。ただ、終始感じていたことは「もっと英語をしっかりと話せて、聞くことができたらなあ。」ということでした。これを機に、英語力の向上に力を入れていきたいと思いました。
- ・日本にはない中国の常識を知ることができたまた、英語づけの生活を送ることで、英語運用力を格段に上げることができた。

### (3) その他

- ・中国では、どこでもキャッシュを使わずに Wechat の QR コードを読み取ってお会計をしていた。日本でも最近では applepay などがあるけど、使っている人は一部だし、限られたお店でしか使えないと思う。中国は本当に様々なところ（ローカルなマーケットや高級レストラン、チケット売り場）で様々な年代の人が使用していて驚いたし、新しいものを取り入れる姿勢を日本人は見習うべきだと思った。
- ・広州市都市計画展覧センターでは、車で広州市内をめぐる感覚を味わえるアトラクションや 4D の映像など、楽しい体験を交えながら学ぶことができました。日本人留学生との





## 7. 全体について、感想を記入してください。

- ・充実した6日間であつという間でした。日本ではできない貴重な体験ができ、また、毎日覚えきれないくらい多くのことを学ぶことができ、忘れないようにメモや写真を撮るのに必死でした。その中でも、やはり一番の思い出はホームステイで、本当に良い経験ができ、あともう一日ホームステイしたかったと何回も思いました。そして、今回のこの派遣事業に関わってくれた方々に感謝したいです。本当にありがとうございました。
- ・今回この事業に参加できて本当によかったなと思いました。英語を通して交流できることの楽しさやうれしさを感じることができました。また、広州市がとても発展している素晴らしい街だと知りました。私の中国のイメージを完全にくつがえすような体験でした。今回の事業で学んだことを将来に活かしていきたいです。
- ・英語が全然しゃべれなくて大変だった。もっと勉強しておけばよかった。また、中国語を使うと便利なことが多かったから、中国語も勉強しておけばよかった。初めての海外がこの研修でとてもよかった。今度は一人で行っても大丈夫くらい勉強しておきます！一週間ありがとうございました！
- ・互いに公用語ではない英語を使って通じ合うことの大切さを知った。みんなが持っている中国の印象とは全く違うと思うので、これからたくさんのことをたくさんの人に伝えていこうと思った。
- ・すごくよい経験になった。自分の英語力のなさに気づいた。もっと英語を勉強してペラペラになったときに、また海外に行きたい。
- ・とてもよい経験ができ感謝してます。旅行は国内がよいと思うが、数年に一回は海外に行きたいと思った。立命館大学の方の話を聞いて、ドイツなどの他の国にも行ってみたいと思った。そして、これからもあきらめず頑張ろうと思った。
- ・本当に充実した7日間だった。学校では学べないことも学べて、テレビで報道されている中国とは違い、よい面もたくさん知ることができて、中国に対しての考え方が変わった。また、現地の高校生と交流することで、たくさんの刺激をもらった。今回の経験を周りに伝えていき、自分の将来にも役立てていきたい。
- ・有意義で充実した楽しい時間でした。どのプログラムも中国のことをより深く知ることができる内容の濃いものだったので、自分の中の中国に対するイメージを変えることができ、また訪れてみたいなと思いました。中国の友達が増え、国際交流に関心のある自分にとっては、有意義な事業でした。当初は不安もありましたが、他のメンバーや県の引率者、広東省の方の温かい支えのおかげで、最後まで頑張りぬくことができました。本当にありがとうございました。この事業を通して自分の未熟さを感じ、これからの課題もたくさん見つかりました。それらを日本に持ち帰り、改善して次に活かしていくと

ともに、得られた知識をより多くの日本人に伝えていけたらと思っています。

- 今回の研修を通して、自分と同じ夢、同じ志を持つ仲間と出会うことができた。また、英語をいやでも使う環境に身を置き、度胸と英語運用力が身についた。また留学したいと思う。